



## 2024 イベントカレンダー

( 営業時間 11:00 ~ 15:00 カフェ:カフェ営業日 )

1	水		16	木	
2	木		17	金	カフェオープン
3	金	カフェオープン	18	土	
4	土	カフェオープン	19	日	
5	日		20	月	(哲学講座)
6	月	カフェ/(哲学講座)	21	火	カフェ/チェロ教室 しゃべり場
7	火	カフェオープン	22	水	
8	水		23	木	
9	木		24	金	カフェ/二胡教室
10	金	カフェ/二胡教室	25	土	カフェ/健康体操 野菜販売
11	土		26	日	
12	日		27	月	
13	月		28	火	カフェ/トント造形教室 チェロ教室
14	火	カフェ/チェロ教室	29	水	
15	水		30	木	
			31	金	カフェオープン

＜ 本末浩司先生 健康体操 (けんそう倶楽部) ＞  
 5/25 (土) 10:00 ~ 11:00

奈良市社会福祉協議会、  
 若草地域包括支援センターにご協力いただきます。



＜ しゃべり場 ＞

5/21 (火) 13:00~

(認知症の人と家族の会主催)  
 皆さまのご参加お待ちしております！



＜ 森脇眞理子先生 二胡教室 ＞

5/10・24 (金) 12:30 ~

中国の伝統的な美しい擦弦楽器。  
 まずは見学だけでもお気軽にどうぞ！



＜ 石川泰羽先生 チェロ教室 ＞

5/14・21・28 (火)

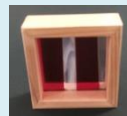
体験レッスン受付中！お子さまから大人の方まで  
 チェロを弾いてみたい方お気軽に体験にいらしてください♪



＜トント造形教室＞

5/28 (火) 13:00 ~

材料費：500円



＜ 田原新鮮野菜販売 ＞

5/25 (土) 10:00 ~

無くなり次第終了です。



奈良公園バスターミナルレクチャーホールで行われた奈良町シンポジウムにおいて奈良町のお茶室拝見コーナーでオレンジカフェすいもんのお茶室が紹介されました。

その日の基調講演では「近代奈良の茶の湯」について神津朝夫氏の興味深いおはなしがありました。江戸時代前期〜中期の奈良では、お茶の流儀ははっきりせず奈良独特の自己流であったそうです。江戸時代後期には、大阪、堺から官休庵や表千家といった流儀が徐々に入り、明治以降は大阪から石洲流も多く入ってきました。そのころの奈良の役割というと東京や大阪のお茶を楽しむ方々(財界人等)への供給源であり、興福寺や東大寺のお道具がたくさん売られていきました。石どうろうやくばいを東京から買いつけに来る人もあったり、さらにはお茶室をそのまま東京へ移築することまで行われていました。奈良には特殊な技術(移築等)をもった職人がいたそうです。

茶道は名家や公家のもものという高貴なイメージでしたが、明治政府は、それを遊芸と位置づけ、茶道家の反感を買いました。その後廃仏毀釈の時代も終わり、お家元の方々の努力もあり、茶道は礼儀作法に役立つと同時に一期一会、ご縁に感謝、コミュニケーションツールとしても人気になりました。

自宅でのおけいこ、お客様へのおもてなし、茶の湯を楽しむ気運が高まり奈良町に多くのお茶室ができました。堺や大阪の茶室は戦争でほとんどなくなりましたが、奈良は戦火をまぬがれたため、多くの茶室が奈良町に残っています。

伝統文化は時代に応じて変わらなければ衰退していく、茶の湯も同じく生活の中にとけこんだ文化であるため、伝統を守りつつも今の生活スタイルに合ったように変化、進化していき、茶の湯を後世に残していきたいでしょう、と締めくくられました。

オレンジカフェすいもんでも、「温故知新」「喫茶去」、お茶の先生方と地域の皆様と共に、茶の湯を楽しんでいただきたながらすいもんのお茶室を大事にしたいと、あらためて思いました。



すいもん茶室